

2024年度 第2回 藤沢市立六会中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2024年 9月 25日（水）10時～  
場 所 六会中学校 第一会議室

出席委員	五十嵐 直美（六会地区青少年育成協力会 副会長） 滝内 洋子（学園都市むつあい協力者会議 会長） 堀田 英二（前六会地区自治連合会会長、六会中学校学習支援員） 堀口 陽子（六会地区民生委員児童委員協議会 会長） 人見 甲子郎（フリースクール森の仔じゅうがっこう 事務局長） 玉置 日菜子（六会地区担当 CSW） 角田 督（六会中学校 PTA 会長） 大石 由佳（六会中学校 校長） 浅場 純子（六会中学校 教頭）
次第	1. 開会 2. 議題 「本校生徒の現状と地域における学習支援について」 3. 報告 「六陵祭文化部門の様子について」 4. 各委員から 5. 閉会
協議内容	(意見等) * 3について ・六陵祭文化部門を実施した。コロナ禍を経て規模拡大。地域の方にも参加していただいた。生徒達がいきいきとしていた。（大石副会長） ・青少協として参加。わたがしブースを担当したが、行列ができて大好評だった。特に男子が元気で子どもらしい一面も見られた。「来年もやってね！」との声もあった。（五十嵐会長） ・学園都市むつあいとして参加。学園都市、PTA、小学校の展示など、子ども達も興味をもってみてくれていた。（滝内委員） ・コロナ禍で文化祭の経験がない子ども達だったと思うが、PTA のブースなど楽しんでいる様子だった。演劇部のいじめを取り上げた演目も良かった。吹奏楽部も練習の成果が見られて、入部したばかりの一年生も頑張っている姿が見られて良かった。（堀田委員） ・当日は参加できず残念だったが、コロナ禍を経て形を変化させて開催できたのだなと思った。わたがしが好評だったと聞いた。（堀口委員） ・森の仔じゅう学校に来ている子ども達は、準備から当日の話を楽しそうに話していた。（人見委員）

- ・各ブース盛り上がっていた。演劇部の発表も子ども達が真剣に見ていた。これを見て子ども達はどう感じているのかと思った。吹奏楽部の発表もとても楽しく、会場が一体となって盛り上がっていた。(玉置委員)
- ・PTAのブースが好評。大人も楽しめた。リュックを背負っての移動が大変との声があった。また、制服リユースも小学6年生を対象に行った。入学後は家族同士のつながりが出てくるが、入学前はなかなかつながりを持っていないので、この機会を活用してもらえたらと企画した。数十着の標準服を活用いただいた。(角田委員)

\* 2について

- ・放課後学習支援をお手伝いしている。事前申込制としているが、当日になって来られないという生徒もいて、多くて1回に5～6人。夏休み期間も実施。個別学習で、生徒が取り組みたい学習課題を扱っている。外国籍生徒への日本語指導も行っている。ひらがななど、小学1年生程度の学習からはじめて、最近漢字も覚えたいとのことで意欲的に取り組んでいる。着々と上達している。(堀田委員)
- ・別室については、個別で取り組める部屋とコミュニケーションをとりながら過ごせる部屋の2部屋ある。介助員が常駐し、担任が必ず生徒と関わるようにしている。1～5時間目まで部屋をあけ、その中でそれぞれ2時間過ごす。その前後で教室で授業を受ける生徒もいる。先生や友人と関わる中で、別室で過ごすことが徐々に身につけてきている。(浅場委員)
- ・放課後学習支援の周知はどのように行っているのか。(人見委員)
- ・個別指導が必要な生徒が対象である。担任から声かけ。対応できる人数については10名程度。(大石副会長)
- ・放課後学習支援が必要と見込まれる生徒はどのくらいいるのか。(人見委員)
- ・各学年5名程度。親子間の意向の違いや、塾に行っている等の理由で声をかけた生徒が必ず参加するわけではない。(大石副会長)
- ・別室でいじめなどはないか。(五十嵐会長)
- ・関係が深くなる中でトラブルが起こる可能性はあるが、今はむしろ別室に来ている生徒同士で仲良くなっているところ。(大石副委員長)
- ・学校周辺で授業のある時間帯に歩いている生徒がいる。別室で頑張っているのかなど思いながら見ている。ボランティア探しは大変。大学生はどうなっているのか。(堀口委員)
- ・10月から一名大学生がボランティアでくることになっている。週1回。(大石副会長)
- ・大学とつながる方法をもっと考えられると良いのではないか。森の仔じゅう学校は日大でもつながりを持ち、学生にボランティアできてもらったりしている。(人見委員)
- ・つながるためにコミスクの場を活用するのも良いかも知れない。(五十嵐会長)
- ・他校のコミスクでも人手不足の課題が話題に挙がる。例えば、事業のひとつとして大学と繋がる仕組みが作れば、双方にとって良い。そのようなことも市に強く提案している。コミスクで話し合ったことがアクションプランに発展しないで終わってしまう。(人見委員)
- ・会議体が乱立しており、どこに重きを置けば良いのか、話し合ったことが次にどうつながっているのか、いまいち分からない。意味のある会議にしたい。(角

田委員)

- 中学側としても、大学を通しての学生のサポートが得られるのであれば、より安心感が得られると思う。(大石副委員長)
- コミスクの場で教育総務課との意見交換会ができると良いが。(五十嵐会長)

次回開催日程：12月13日(金)

会場：六会中学校 第一会議室